

玉掛け技能講習受講報告

工作部門 機械加工技術班 原 明慶

1. はじめに（目的等）

私の配属先であるものづくりプラザにはホイストクレーンが設置されており、業務の遂行には必要不可欠である。実際の業務ではクレーンの操作と荷をワイヤーロープに固定する作業を一人で行うことが多々あり、玉掛け作業をする機会が多い。そのため、ものづくりプラザにあるクレーンを使用して機材等を移動させるには、クレーンの操作だけでなく玉掛け作業の知識も必要となるため、今回の学外研修にて受講した。

2. 期間・場所

期間：令和4年11月9日～11月11日

場所：東広島地域職業訓練センター

3. 参加者等

受講者7名

4. 研修内容

1. 学科 クレーンに関する知識
2. 学科 クレーン等玉掛けに必要な力学に関する知識
3. 学科 クレーン等の玉掛け方法
4. 関係法令
5. 実技 クレーン等の運転のための合図
6. 実技 クレーン等の玉掛け

5. まとめと感想

今回の研修では、玉掛けに関する知識の習得及び玉掛け作業の訓練を行った。

玉掛け作業の流れとしては、荷の寸法・体積と比重から質量を目測で求める。次に荷の形状や質量によって最適なワイヤーロープの選定や、荷のつり方（何点何本つりなのか、つり角度等）を決定する。特に質量の目測は重要な作業であり、目測を誤ると荷の移動中にワイヤーが切断するなどの大きな事故になる危険性がある。

他にも玉掛け作業では、ワイヤーと荷の間で手を挟まないように注意を払い、つり荷の下に入らないなど様々なことに注意を払わなければならない、正しい知識を身に着けたうえで作業をしなければならないと感じた。